

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	409	3年	前期	臨床検査学科	必修	病理組織細胞学 Histopathology and Cytology	30	2
担当教員								
則松 良明								
関連するDPキーワード（看護学科）								
① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。								
② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。								
③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。								
④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。								
⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。								
⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。								
⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。								
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。								
○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。								
③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。								
○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。								
○ ⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。								
⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。								
授業目的								
細胞、組織、物質の同定および確認をする特殊染色の理論と方法、技術、および分子病理組織・細胞検査法の理論と方法、技術を習熟し、病変に対する種々の染色結果の解析・評価することができる。								
到達目標（授業目標）								
①病理検査(組織検査および細胞診検査)の標準化と精度管理、標本の評価法について説明できる。								
②病理組織標本作製手順(固定、包埋、薄切、切り出し時の臓器肉眼観察法、写真撮影と記録法)について説明できる。								
③ヘマトキシリン・エオジン染色の理論と方法および標本の評価方法が説明できる。								
④各種成分(線維成分、脂肪成分、組織中無機物、多糖類、組織内病原体、生体内色素、線維素・内分泌細胞、神経細胞など)における特殊染色の理論と方法および標本の評価方法が説明できる。								
⑤電子顕微鏡の理論と標本作製方法、細胞内超微細構造が説明できる。								
⑥免疫組織・細胞化学染色法の理論と方法、応用と有用性および染色結果の解析と評価が説明できる。								
⑦分子病理組織・細胞検査の理論と方法、応用と有用性およびその結果の解析と評価が説明できる。								
⑧細胞診検体の固定および染色法 およびその染色結果の解析と評価が説明できる。								

授業計画（項目・内容と方法・担当者）	
1回	病理検査の標準化と精度管理：組織検査および細胞診検査の標準化と精度管理、標本の評価法について講義する。
2回	病理組織標本作製手順：固定、包埋、薄切、切り出し時の臓器肉眼観察法、写真撮影と記録法について講義する。
3回	ヘマトキシリン・エオジン染色：ヘマトキシリン・エオジン染色の理論と方法および標本の評価方法について講義する。
4回	線維成分（膠原線維、弾性線維、細網線維、平滑筋線維）の特殊染色：アザン・マロリー染色、マッソン・トリクローム染色、エラスチカ・ワンギーソン染色、ピクトリア青染色の理論と方法および染色結果の解析と評価方法について講義する。
5回	線維成分（膠原線維、弾性線維、細網線維、平滑筋線維）の特殊染色：渡辺の鍍銀染色、過ヨーン酸メセナミン銀（PAM）染色の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
6回	脂肪成分、組織中無機物（鉄・カルシウム）の特殊染色：オイル・レッドO染色、ズダンIII染色、ズダン黒B染色、ナイル・ブルー染色、ベルリン青染色、コッサ反応の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
7回	多糖類の特殊染色：過ヨーン酸シッフ（PAS）染色とアルシアン・ブルー（AB）染色、AB-PAS染色、高鉄ジアミン染色、コロイド鉄染色の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
8回	多糖類の特殊染色：ムチカルミン染色、コンゴ・レッド染色、ダイレクト・ファーストスカーレット染色、過マンガ酸カリ酸化法の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
9回	組織内病原体（細菌、結核菌、真菌、スピロヘーター、ウイルス等）の特殊染色：グラム染色、チール・ネルゼン染色、グロコット染色、ワルチン・スターリー染色、オルセイン染色の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
10回	生体内色素（メラニン、ヘモジデリン、リポフスチン）、線維素（フィブリン）・内分泌細胞の特殊染色：フォンタナ・マッソン染色、シュモール法、ドーバ反応、リンタングステン酸ヘマトキシリン（PTAH）染色、グリメリウス染色の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
11回	神経細胞、神経線維、神経膠細胞の特殊染色：ニッスル染色、クリューバー・バレラ染色、ボディアン染色、ホルツァー染色の理論と方法およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
12回	電子顕微鏡の理論と標本作製方法：電子顕微鏡の総論、標本作製法（組織の切り出し・固定・脱水・包埋）の理論と方法、電子染色標本の観察と細胞内超微細構造の観察方法について講義する。
13回	免疫組織・細胞化学染色法：免疫組織・細胞化学染色法の理論と方法、応用と有用性および染色結果の解析と評価方法について講義する。
14回	分子病理組織・細胞検査法：分子病理組織・細胞検査の理論と方法、応用と有用性およびその結果の解析と評価方法について講義する。
15回	細胞診検査の染色法：細胞診検体の固定および染色法（パバニコロウ染色、PAS染色、アルシアン・ブルー染色、ギムザ染色）およびその染色結果の解析と評価方法について講義する。
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
受講態度(10%)と筆記試験(90%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	・松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章他「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」（医歯薬出版） ・水口國男・石川喜美男・三瓶接子「カラー版 組織アトラス－正常と病変－」医歯薬出版

参考図書等	水口國男・伊藤機一・設楽政次「最新 染色法のすべて」(医歯薬出版)									
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)										
資料ファイルをE-studyに掲載します。必ず資料(病理学講義の資料も合わせて)と教科書の該当箇所を熟読して理解できていない部分を明確にして授業に臨んでください。										
関連科目										
前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ	147	人体の構造・機能実		疾病発生の機序(共
後科目	407	病理学	408	病理学実習	409	病理組織細胞学				
実務家教員										
臨床検査技師(医療機関)	則松 良明									
備考	授業前に配布している資料ファイルを活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー(学生専用ページから曜日時間を確認してください。)を活用して質問しに来てください。									